

第二部会 審議資料

資料 1 - 1

(事業名) 京浜急行電鉄湘南線 (泉岳寺駅～新馬場駅間) 連続立体交差事業

部会審議項目(5) 騒 日 電 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 騒音・振動 (選定した項目) (年月日) 平成 30 年 6 月 25 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P47～P81
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域及び予測地点 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P82～P103
環境保全のための措置		P104
評 価		P105～P109
都民の主な意見	別紙1のとおり	
関係区長の意見	別紙1のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年6月15日 (2) 担当委員 坂本 慎一 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙2のとおり)	

都民の主な意見

- 1 近くのマンションに居住する者です。年末の説明会では、線路を10mほど高くするが、線路から10m離れた地点（屋外）でのシミュレーションでは騒音は現状と大差がないとの環境影響調査結果が示されました。しかし、約10m線路を高くすることで、部屋と線路が縮まる地点での騒音のシミュレーションがなされていません。是非、近隣住戸内での騒音がどうなるかのシミュレーションを実施して下さるようお願いいたします。
- 2 品川第一踏切道になっている補助第149号線をまたぐ立体交差の高架の位置は、周囲と比較して標高の高い八ツ山付近にあります。ここに連続高架橋を建設し電車が走行すると、予測位置は地盤の低い東側ではかなり下方の地点になり、相対的に低い振動・騒音におさまるのではないかと推測します。高層集合住宅の高層階では、鉄道軌道の上から抜ける騒音が直接到達するため、上層階に居住する住民が受ける振動・騒音は予測値に抑えられるか疑問です。

また、この箇所はRがきついS字形状の軌道になっているため、車輪とレールが接触して大きな摩擦音を発生しています。高架橋が現状の軌道より東側にずれて建設されることを考えれば、港南2丁目の住民にとり、振動・騒音発生源はより近くに移動することになります。

以上のとおり、騒音に対する懸念が強いため、この区間について特段の配慮した防音対策を講じてほしい。

関係区長の意見

【港区長】

建設作業にあたっては、騒音、振動、粉塵等、周辺環境に与える影響を低減するよう適切な対策を講じてください。

【品川区長】

工事施工中の騒音・振動の予測値が規制基準値に近い作業があるので、関係法令の基準を遵守するとともに、低騒音・低振動型の建設機械・工法の採用を図り、騒音・振動の低減に努めてください。

また、夜間を含めた作業期間や時間については、周辺住民への騒音・振動による影響を最小限にとどめるよう配慮してください。

項目：騒音・振動

意見	意見の取扱いについての事務局案
<p>1 本事業は工事が長期間にわたる上、予測値が勧告基準と同程度の工種があること、また、夜間にも工事が実施されることから、周辺住民に対して工事内容を十分に説明するとともに、環境保全のための措置を徹底し、騒音・振動の影響を低減するよう努めること。</p>	<p>指摘の趣旨を答申案に入れる。</p>
<p>2 工事の完了後における鉄道騒音について、高さ方向の予測を2地点で実施しているが、本事業区間については高架に近接して中高層の住宅等が存在し、かつ、急曲線区間があることから、完了後の鉄道騒音の実態を適切に把握し、必要に応じてより一層の環境保全のための措置を検討すること。</p>	<p>指摘の趣旨を答申案に入れる。</p>

第二部会 審議資料

資料 1 - 2

(事業名) 京浜急行電鉄湘南線 (泉岳寺駅～新馬場駅間) 連続立体交差事業

部会審議項目(5) 騒 日 電 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 日影 (選定した項目) (年月日) 平成 30 年 6 月 25 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P110～P118
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P119～P122
環境保全のための措置		P123
評 価		P123
都民の主な意見	な し	
関係区長の意見	な し	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年 6 月 7 日 (2) 担当委員 平手 小太郎 委員 (3) 検討結果 意見なし	

第二部会 審議資料

資料 1 - 3

(事業名) 京浜急行電鉄湘南線 (泉岳寺駅～新馬場駅間) 連続立体交差事業

部会審議項目(5) 騒 日 電 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 景観 (選定した項目) (年月日) 平成 30 年 6 月 25 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P137～P145
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P146～P153
環境保全のための措置		P154
評 価		P155
都民の主な意見	な し	
関係区長の意見	別紙のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年 6 月 7 日 (2) 担当委員 平手 小太郎 委員 (3) 検討結果 意見なし	

関係区長の意見

【港区長】

意見なし

【品川区長】

- 1 P140の「地域景観の特性」については地域の土地利用についての内容になっているため、景観の特性についての調査結果を記載してください。
- 2 P144の図8.4-2について。北馬場通りも景観重要公共施設にあたるため、追記してください。また、品川区の水辺景観形成特別地区は水面境から50mの位置なので、同図の範囲をそのように修正してください。
- 3 P152のNo5の眺望について。高さのみの記述ではなく、長大な壁面が地域に出来上がることに對しての評価がなされていないため、その評価を行い影響がないような計画としてください。

「京浜急行電鉄湘南線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業」に係る都民の意見を聴く会における公述意見の概要

都民の意見を聴く会	公 述 人
	1 名

1 事業計画

- ・ 周辺の敷地は、この計画が直上型の設計ではないため立ち退きになり失われる。そして、不必要な区画道路をつくり、この道路の脇の横町という聞いたこともないようなものをつくることは、現実問題として考えられない。いかにして高架化による立ち退きを少しでも減らすか、その努力をしていただきたい。

2 景観

- ・ 史跡・文化財という項目が外されているのは非常に残念である。この旧東海道品川宿地区は、かなりの長きにわたって東海道自体だけではなく横町までもが昔のままの近い幅で残っているため、品川区だけではなく東京都にとっても貴重な地域だからである。
- ・ 敷地の形状や道路や横町などが完全に無視されている。環境影響評価の中に史跡・文化財が入っていないのは、そういうものがないためと説明されているが、それではなぜ、景観や貴重な旧東海道が無視されるのかが大きな疑問である。
- ・ 旧東海道品川宿地区という非常に貴重な歴史遺産を、なるべく手つかずで残す努力をしていただきたい。

「京浜急行電鉄湘南線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業」に係る環境影響評価書案について（案）

第1 審議経過

本審議会では、平成29年12月21日に「京浜急行電鉄湘南線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業」環境影響評価書案（以下「評価書案」という。）について諮問されて以降、部会における審議を重ね、都民及び関係地域区長の意見等を勘案して、その内容について検討した。

その審議経過は付表のとおりである。

第2 審議結果

本事業の評価書案における調査、予測及び評価は、おおむね「東京都環境影響評価技術指針」に従って行われたものであると認められる。

なお、環境影響評価書を作成するに当たっては、関係住民が一層理解しやすいものとなるよう努めるとともに、次に指摘する事項について留意すべきである。

【騒音・振動】

- 1 本事業は工事が長期間にわたる上、予測値が勧告基準と同程度の工種があること、また、夜間にも工事が実施されることから、周辺住民に対して工事内容を十分に説明するとともに、環境保全のための措置を徹底し、騒音・振動の影響を低減するよう努めること。
- 2 工事の完了後における鉄道騒音について、高さ方向の予測を2地点で実施しているが、本事業区間については高架に近接して中高層の住宅等が存在し、かつ、急曲線区間があることから、完了後の鉄道騒音の実態を適切に把握し、必要に応じてより一層の環境保全のための措置を検討すること。

【審議経過】

区 分	年 月 日	審 議 事 項
審議会	平成 29 年 12 月 21 日	・評価書案について諮問
審議会	平成 30 年 2 月 23 日	・現地視察
部 会	平成 30 年 5 月 16 日	・項目別審議 電波障害、廃棄物
公聴会	平成 30 年 6 月 5 日	・都民の意見を聴く会を開催
部 会	平成 30 年 6 月 25 日	・項目別審議 騒音・振動、日影、景観 ・総括審議
審議会	平成 30 年 6 月 26 日	・答申（予定）

【項目別検討の実施状況】

環境影響評価の項目	項目検討の実施年月日
騒 音 ・ 振 動	平成 30 年 6 月 15 日
日 影	平成 30 年 6 月 7 日
電 波 障 害	平成 30 年 4 月 17 日
景 観	平成 30 年 6 月 7 日
廃 棄 物	平成 30 年 4 月 24 日